

Nihon Hospital Volunteer Association

# 病院ボランティアだより

No.253 2022.6



特定非営利活動法人  
日本病院ボランティア協会

〒542-0012 大阪市中央区谷町 6丁目4-16商店街ビル202  
TEL & Fax 06-6809-6506  
<http://www.nhva.com/> / E-mail [nhva@cronos.ocn.ne.jp](mailto:nhva@cronos.ocn.ne.jp)

## 巻頭言

姫路聖マリア病院 病院長 金廣 有彦



姫路聖マリア病院は1950年2月、カトリックの聖フランシスコ病院修道女会のアメリカ管区から派遣されたシスターによって現在地に開設されて以来、70年を超える長い歴史と伝統を受け継いできた病院である。8床の聖マリア診療所からスタートした当院は現在440床を有し、開設から現在に至るまでキリスト教の理念に基づき病める人や助けを必要とする人々のために貢献し続け、地域医療の拠点としての役割を果たしている。

当院では1996年、ホスピス病棟（現：緩和ケア病棟）の立ち上げと同時に、市民によるボランティア活動を少人数で開始した。その後体制を整え2003年にボランティア課を設置。緩和ケア病棟だけではなく病院全体の活動へと幅を広げている。登録者数は76名（2022年3月末現在）、そのうち20名が10年以上継続して活動をされている。専任のボランティアコーディネーターも在籍し、ボランティア教育・研修会の開催や患者サービス向上の一役を担い活躍している。

当院のボランティアの特徴は「みもぎの会」「コスモス」「ちくちくクラブ」の3グループで構成されており、その活動は、院内の案内、車椅子利用者の介助、患者図書室の運営、季節の飾り付けや小物の制作、ガーデニング等まさ

に多彩で、それぞれ得意分野や趣味を生かして快適な病院づくりを支えていただ

いている。ボランティアの活動は、当院のミッションステートメントの一つである「惜しみない親切と真心からの愛をもって、病人と助けを必要とする人々の生と死に希望を与える」というカトリックの癒しの精神にも通じている。

医療の進展による高度化・複雑化、在宅医療と介護の連携の難しさ、少子高齢社会の到来、そして収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症など医療を取り巻く環境は年々悪化している。そんな中、ボランティアの方々の温かい気持ちや創造的で幅広い活動は病院全体に新鮮な風を吹き込み、日々患者さんに活力と癒しを提供していただいている。心より深く感謝申し上げる次第である。



## 2021年度 第1回 3月12日開催交流会 報告

### テーマ：「つながろう！仲間と。つなげよう！明日に。 集まろう、話そう、あんなことこんなこと」

参加人数：23名（ボランティア10名、コーディネーター・職員13名）と理事13名

病院名：札幌医科大学附属病院・宮城県立こども病院・筑波メディカルセンター病院・聖路加国際病院・日野原記念ピースハウス病院・慶應義塾大学病院・済生会川口総合病院・埼玉県立小児医療センター・トヨタ記念病院・近畿大学病院・奈良県立医科大学附属病院・奈良総合医療センター・市立伊丹病院・大阪府済生会中津病院・淀川キリスト教病院・ほうせんか病院・関西労災病院・富田町病院・高槻赤十字病院・大阪警察病院・大阪医科薬科大学病院・日本バプテスト病院・松江市立病院・鳥取赤十字病院・倉敷中央病院・四国がんセンター・長崎大学病院・佐賀県医療センター好生館（28病院）

申し込み時「交流会で伝えたいこと、話したいこと、聞きたいことはありますか」にお書きくださった声

#### <コロナ禍についてのこと>

- ・コロナ禍の中、活動が度々休止となり、ボランティアの皆さんのモチベーションをどのように保っていけばよいのか。
- ・今までのような活動にもう戻れないのではないかと、危惧しています。新しい活動と団員全員のモチベーションを取り戻すことに、苦慮しています。
- ・コロナ禍で従来のボランティア活動ができない状態で、「続けていること」「工夫していること」を伺いたいと思います。
- ・コロナ禍のボランティア活動について。
- ・当病院ボランティアは、病院との協議の結果、2020年4月20日から現在に至るまで活動を休止しています。理由は、ボランティアさんの活動内容が①入院する患者さん（ご家族含む）を病棟へ案内する、②来院者さんを診療科等へ案内する……のように、来院者さんと対面で行うことで感染リスクが高くなることに加え、③ご高齢のボランティアさんへの感染を予防するため、です。
- ・ボランティアのみなさんの現況、お気持ちをお聞きしたいです。
- ・コロナ禍での活動をお聞きしたい。
- ・コロナ禍における他の病院の活動の現状を知りたい。
- ・ホスピスボランティアの現状を知りたい。
- ・現在の活動状況。
- ・現在活動をどうされていますか？

#### <ボランティア全般のこと>

- ・新規ボランティアの募集方法について、特にインターネットで広く募集した場合など、様々な動機を持たれる方々の面接や採用の基準や留意点等を教えていただきたい。
- ・病院内で活動する際に注意すべきことや、問題となる予想できる点など。
- ・ボランティアさんの受け入れの際どのような事をされていますか？

こちらの声を中心に進めました。



ィア休止。(KKR札幌医療センター ボランティア アウルの会)

●新年度(2022)も引続きボランティア活動は休止です。グリーンボランティアは大学の

管理のもと、活動をしております。(神戸大学医学部附属病院 ボランティアグループ)

●新型コロナのため1月~4月まで中止になりました。(杉田玄白記念公立小浜病院)

## ありがとうございました!

聖路加国際病院ボランティアグループの皆さまより  
「ボランティア50年史」  
が届きました。



## ホスピス・緩和ケアボランティア研修会

日 時 2022年7月22日(金) 13時30分~15時30分

場所・時間 Zoom参加&大阪府社会福祉会館402号(会場参加)

講演と交流 講師: 田川 尚登 氏

(横浜子どもホスピスプロジェクト代表理事)

### この瞬間を笑顔に!

「横浜子どもホスピス~うみとそらのおうち」

—子どもホスピス設立にかける想い—

## 【こどもホスピスの始まり】

### 小児ホスピス「ヘレン・ハウス」

世界で最初の小児ホスピス「ヘレン・ハウス」は、教会のシスターをしていたフランシス・ドミニカが、重い病気を抱えたヘレンという2歳の女の子を預かったことから、その歴史は始まった。

子どもと家族のリフレッシュのためのショート・ブレイク（レスパイト・ケア）がケアの特徴である。

重い病気の子をもつ親としては、その子を家でケアをしながら一緒に過ごしたいと思うが、昼夜間わず24時間その子のケアをしながら、家事、子育て、仕事もしなければならないなどの負担が重なってしまうことで社会的に孤立しかねない状況に陥ってしまうことがある。

ヘレンを預かったシスター・フランシスは、そんな親の状況に気付き、彼らの負担を少しでも取り除こうと、医療ケアが必要な子どもを一時的に預かることができる施設として小児ホスピスを設立した。

### 青少年向け小児ホスピス「ダグラス・ハウス」

医療の進歩に伴い、過去には幼くして亡くなっていた病気の子どもたちが、もう少し長く生

きることができるようになり、思春期を超えてくると小児を対象とした施設が必要となってきた。

ダグラス・ハウスは、そんな彼・彼女らのために、ヘレン・ハウスの理念を継承し規模を拡大する形で、もう少し上の年齢層となるヤングアダルト（16歳以上）を対象として、ヘレン・ハウスに隣接する形で2004年にオープンした。

### 「ヘレン・ハウス」「ダグラス・ハウス」

いずれも子どもにとっては治療を目的とした病院でなく、普段の家庭でのケアを受けながら、子どもらしい自由なひとときを過ごせる場所。家族にとっては、医療ケアの負担から離れた穏やかな休息の時間を持てる場所である。

### 世界へ

ヘレンハウスの実践は、イギリス国内のみならず、世界中に大きな影響を与え、子どものホスピスの活動が広がっていった。現在、イギリスだけでなくカナダ、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ各国へ広がり、それぞれ特徴ある活動を行っており、日本でも各地での設立が望まれ、設立へ向かっている。

### 日本のこどもホスピス

2012年に淀川キリスト教病院にこどもホスピス病棟ができた。

独立したホスピスとしては、2016年大阪で開設されたTSURUMIこどもホスピスが最初のものになる。

東京には2016年に国立成育医療研究センターの中に、医療型短期入所施設として「もみじの家」が開設された。希少疾患や難病のため在宅で療養している子どもとその家族が短期滞在できる施設である。

関東地区では、2021年11月に、「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」がオープンした。全国各地で設立に向けての動きが活発である。

## チャレンジしてみてください

私は縫製ボランティア活動を続けています。

今回ボランティアグループからアイデアを募り冊子になった「手作り作品集」(\*)から2点の作品を作ってみました。

スカーフのような帽子とレントゲン・カルテバッグです



帽子には50cm×50cmの布、レントゲンバッグには56cm×96cmの布を用意しました。(帽子は手縫いでも)

出来上がり品を写真にしました。

これからも「病院で有ったらいいな」の作品、アイデアを共有していきたいですね。

舞子台病院グループボランティア 水嶋ひろみ



※「手作り作品集」をお取りようの方はNHVAまでご連絡ください。  
(1冊200円)

## 空堀商店街 お店のご紹介

事務所が空堀商店街に移って2年半。東西に800mほど続く商店街の全店制覇は道遠ですが、事務所近辺にあるお気に入りのお店をご紹介します。今回は魚屋さんです。

こちらは、「ぬのめ鮮魚店」

お刺身、魚介類、うなぎのかば焼きなどがぎっしり並べられて

います。残念ながら夕方、事務所を閉めた後に行ってもあまり残っていませんが。魚は肉厚で貝の身は大粒。とっても美味しい！

ここでのお買い物は事務所に行く楽しみの一つとなっています。

こちらは塩干しの魚が中心の「丸吉商店」素敵な高齢のご夫婦がやってらっしゃって、のんびりした雰囲気が漂います。

ここもお味は間違いなし。玉ねぎの天ぷらや練り物関係もGood。素通りはできません！







## 編集後記

新型コロナウイルス感染症対策のためここ数年多くの病院でボランティア活動の停止や活動内容に制限が掛かっておりますが、協会にお寄せいただく「みなさまのおこえ」や「活動時間集計表」などから前向きな動きが出て来ていることを感じています。

現在は研修会、事務所活動などすべてオンライン（Zoom）が主流ですが制限解除後はリアルとオンラインとの併用（ハイブリッド）でコロナ以前より交流の場が広がって行く事を強く願っております。

（編集委員 内片 藤田 宇野）

### 病院ボランティアだより

No.253 2022年6月発行

特定非営利活動法人 **日本病院ボランティア協会**

理事長 宇野 喜代子

〒542-0012 大阪市中央区谷町 6丁目4-16商店街ビル202  
TEL & Fax 06-6809-6506 <http://www.nhva.com>  
E-mail [nhva@cronos.ocn.ne.jp](mailto:nhva@cronos.ocn.ne.jp)

印刷 関西共同印刷所